

令和7年度

都島区高齢者地域包括ケアシステム推進会議

認知症総合支援事業

認知症初期集中支援とは

医療・介護の専門職が家族等の相談等から、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、必要な医療や介護の導入・調整や家族支援などの初期の支援を集中的に行い、適切な医療・介護サービスなどに速やかにつなぐ取組を行うことである。

・対象者は、40歳以上で、都島区内で在宅生活をしており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人。

チーム員の取り組み

- ・ 令和6年度の支援件数は、34件
- ・ 対象者の殆どが70歳以上
- ・ 別居の家族はいるが、独居生活をしている方が半数いた。
- ・ 令和6年度の初期集中支援終了時の在宅率は、87.8%



- ・ 認知症になっても住み慣れた地域で生活をしていく。
- ・ 在宅で生活をしたいという思いに答えることができている。

認知症地域支援推進員とは

- ・ 若年性認知症の診断を受けた者やその家族からの相談に応じる。
- ・ 認知症初期集中支援チームや関係機関等と連携し必要な支援を行う。
- ・ 支援困難症例の主たる支援機関からの相談に対し、専門的な助言等の必要な支援を行う。
- ・ 認知症支援ネットワーク構築に関する支援活動。
- ・ 地域の認知症対応力向上のための勉強会等の企画・調整・実施
- ・ 地域住民への広報・周知啓発活動

等

推進員の取り組み

ご存知ですか？

伝言をうまく
伝えられない

スケジュール
管理ができない

若年性認知症のこと

認知症は 高齢者 だけの 病気 ではありません

若年性認知症とは
65歳未満で発症する認知症のことです。
働き盛りで発症するため、仕事や家事が十分にできなくなるなど、
本人や勤務先だけでなく、家族への影響が大きいと考えられ、
様々な困難が生じ、支援が必要になります。

相談無料
秘密厳守

早期発見、
早期受診が
大切です!!

都島オレンジチーム
大阪市都島区大東町2-2-18
都島区北部地域包括支援センター内
☎06-6926-3803
受付時間 (月～土)9:00～17:30
(休み) 日曜日・祝日・年末年始



地域住民への広報周知啓発活動
・若年性認知症の啓発を促進する
ために、若い人の目にとまり
やすく、わかりやすい内容にリ
ニューアルした。
配布先－各地域の掲示板、URの
掲示板、図書館、ベビーふれあ
い教室 等

推進員の取り組み

- ・ 認知症ケアパスvol.4「認知症と向きあうあなたへ～対応編とヒント～」を作成した。

配布先－地域住民、都島区医師会、歯科医師会、薬剤師会に加盟している医療機関、郵便局、地域福祉CO等

＜ケアパスを見た方の声＞

- ・ 介護を嫌がる時の対応がわかってよかった。

- ・ 認知症の対応をする時に、できる事に目を向けるという考えを初めて知った。



認知症と
向きあうあなたへ
Vol.4

▶ 対応編とヒント ◀

～この冊子を手にしたあなたへ～

認知症の症状にどのように対応したらいいかわからないと言うご家族の声がしばしば聞かれ、対応に疲弊してしまうことも少なくありません。
不安な思いを一人で、家族だけで抱え込まないでください。
一人でも多くの認知症の人やその家族が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、対応編とヒントを作成しました。

都島区認知症専門相談窓口 都島オレンジチーム
☎06-6926-3803
月～土 9:00～17:30 休業日 日・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

推進員の取り組み



9月認知症月間では、都島図書館とコラボし、図書館にポスターの掲示やチラシの配架をおこなった。



都島区北部地域包括支援センターの壁面にも掲示した。

認知症当事者家族の会

＜開催のきっかけ＞

- ・ 認知症当事者を男性の家族が介護しているケースが多く、自分だけがこんな思いをしているのか。認知症である事は理解しているが、どのように対応していいかがわからないため、本人に対して不適切な対応をしてしまうことがある。

＜目的＞

- ・ 認知症当事者家族が、認知症を理解することや、家族同士が交流することで、困っているのは自分だけではないことを知り家族の思いを共有することで、認知症介護の負担軽減を図る。当事者家族の声を反映し参加しやすい会を目指す。

認知症当事者家族の会

- ・ 令和2年度から開催。
- ・ 開催回数：合計14回
- ・ 参加人数：延べ66名の男性介護者が参加。

＜参加者の感想＞

- ・ 皆さんの話を聞けて良かった。
- ・ 認知症の人の介護に「これ」という正解はない。
- ・ 妻の気持ちを尊重して、失敗もあるがでることをしてもらっている。
- ・ 男性は基本的に真面目で、手を抜くことができず頑張りすぎる傾向がある。



認知症当事者家族の会

＜参加者の変化＞

- ・参加当初は、他の人の話を聞く事が目的だったが、参加回数を重ねる事で、自身の経験を踏まえて、お互いがアドバイスができる関係性になり、認知症当事者家族同士のネットワークができた。
- ・今年度は、参加者も交えた当事者家族の会運営委員会を発足し、自主運営を目指していく事になった。

オレンジサポーター地域活動促進事業

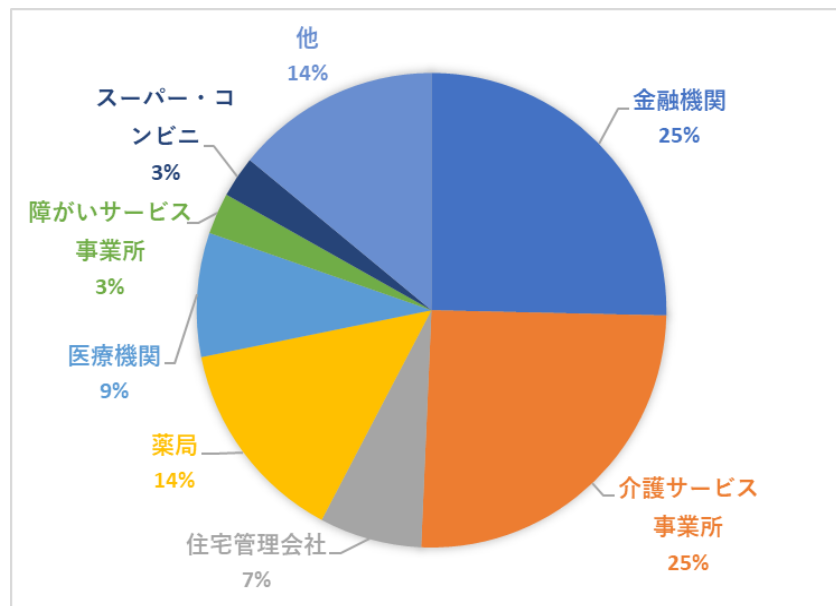
＜大阪市が掲げる目的＞

- ・ 認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族への支援を行う「ちーむオレンジサポーター」が継続的に活動できるよう取り組みます。
- ・ 認知症の人にやさしい取組を実施する企業・団体等を「オレンジパートナー」の登録企業・団体として発信していき、その輪が広がることにより、全ての認知症の人が社会の対等な構成員として、地域で安心して生活ができるまちづくりを目指します。

登録状況

- ・ オレンジサポーター：69名（前年比＋16名）
- ・ ちーむオレンジサポーター：13チーム（前年比＋2チーム）
- ・ オレンジパートナー：70社（前年比＋14社）

< オレンジパートナー内訳 >



ちーむオレンジサポーターの活動

- ・ どんどん歩こう！おでかけ「スタンプラリー」の同行
- ・ 認知症カフェ（地域の集う場）運営ボランティア
そんぽ城北歌の集い・小物づくり講座、たのしい♪
デイカフェ、喫茶アイチャン、ゆめさろん
- ・ 都島元気フェスや区民向け講演会の運営ボランティア



- ・ 認知症のある方が地域に出かけやすくなった。
- ・ 認知症があっても、地域で安心して生活ができるまちづくりに貢献している。

認知症高齢者等支援ネットワーク連絡会 (みかんねっと)

- ・ 都島区医師会が主となり、区内各機関と連携し、
区民と専門職に正しい認知症の理解を深めてもらう事を
目的に区民講演会と専門職研修を開催している。
- ・ 都島区高齢者地域包括ケアシステム推進会議に都島区の
認知症高齢者等の課題を提言している。

活動内容

- 区民講演会

- 令和6年10月3日
- 都島区民センター1階ホール
- テーマ—認知症と共に自分らしく生きる
- トークショー

「絶望から希望へ当事者だからできること」
著書「記憶とつなぐ」より 下坂 厚氏

- 参加者—124名

<参加者の声>

- 「認知症に対する偏見がなくなった。」
- 「認知症に対するイメージが変わった。地域からイメージを変えていかなくては。」

区民講演会

認知症と共に 自分らしく生きる

参加費無料
定員 100 名
事前申し込み制
参加希望の方は
都島区医師会まで

トークショー

絶望から希望へ当事者だからできること
著書「記憶とつなぐ」より 下坂 厚 氏

2019年、46歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。
現在は、認知症当事者としての講演活動や写真家としても活動されている。

※下坂氏・医師・相談員3人によるトークショー



つなぐた(歌の出演)

地元出身のシンガーソングライター
清水 明日香 さん



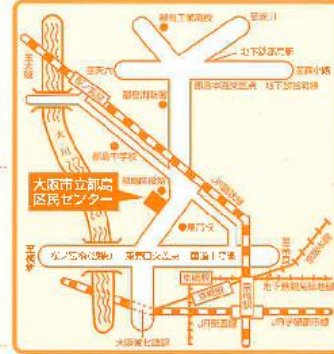
日時

令和6年
10月3日(木)
午後2時から

場所

都島区民センター 1Fホール
都島区中野町2丁目16-25

自転車でお越しの場合、
駐輪場をご利用下さい。



参加希望の方は都島区医師会までお申し込みください。(電話 06-6922-7781)

主催：一般社団法人 都島区医師会 ☎ 6922-7781
共催：都島区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会(みかんねっと)

活動内容

- ・ 専門職研修

- ・ 令和7年2月19日
- ・ 都島区民センター1階ホール
- ・ 「認知症ケアとこころの安全基地作り
～ケアデトックスのすすめ～」

- ・ 講師

認知症相談支援センター 研修センター 結
石川 進氏

- ・ 参加者—76名

＜アンケート結果＞大変よかった37名、よかった20名
「認知症の基本に戻れた。」

「認知症介護を改めて考えるきっかけになった。」等

令和6年度 専門職研修のご案内

- 📅 日時：令和7年2月19日（水）午後2時～午後3時半
- 📍 場所：都島区民センター 1階大ホール
- 🎤 演題：「認知症ケアとこころの安全基地作り
～ケアデトックスのすすめ～」

講師 社会福祉法人 由寿会

認知症相談支援・研修センター：結（ゆい）

センター長 石川 進氏
（大阪府認知症介護指導者）

*石川先生に質問のある方は、事前に
各担当者までお知らせください



・ 居宅介護支援事業所 → 友測地域在宅サービスステーションひまわり 野崎氏
FAX 06-4253-2263

・ 都島区デイケア・デイサ・ビス連絡会 → 生活リハビリ館 谷端氏
FAX 06-6921-1130

・ 都島区高齢者入居施設連絡会 → 特別養護老人ホーム 宍都荘 廣瀬氏
FAX 06-6926-2352

・ 上記除く関係機関 → 都島オレンジチーム FAX 06-6926-3801

問い合わせ：都島区認知症強化型地域包括支援センター
（専門職研修担当：西嶋 尾崎 市川）
電話 06-6926-3803

主催 一般社団法人 都島区医師会

共催 都島区認知症高齢者等支援ネットワーク連絡会（みかんねっと）

まとめ

認知症になっても住み慣れた地域で生活
が続けられるように支援をします。
これからも、地域の皆様、専門職の皆様
に認知症の周知・啓発を続けていきます。